

2020 年ブルガリア犯罪統計（出典：内務省ウェブサイト）

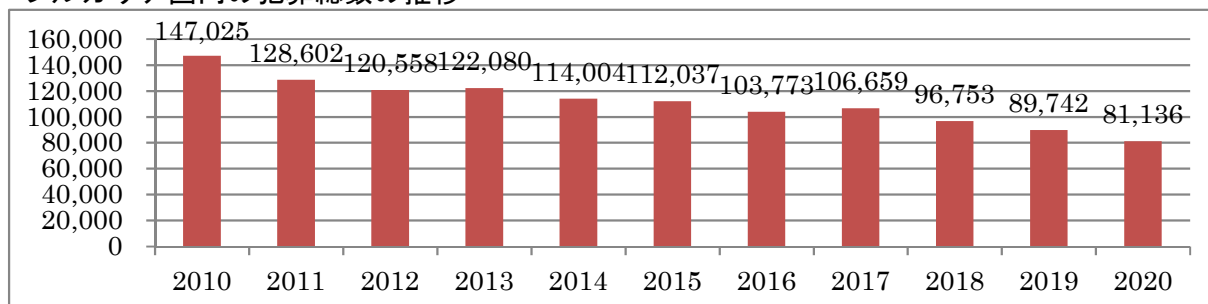
1 罪種別犯罪発生状況

	ブルガリア統計			日本との比較	
	認知件数	前年比 (%)	10 万人当 たりの発生率 (※1)	日本国内の 10 万人当 たりの発生率 (※2)	日本を 100 とした場合 の指数
犯罪総数	8,1136	-9.6%	1173.0	489.2	239.8
殺人	243	10.0%	3.5	0.7	469.2
強盗	1,002	-15.3%	14.3	1.1	1,286.6
強制性交等	135	-7.5%	1.9	1.1	181.8
強制わいせつ	238	-9.8%	3.4	3.3	102.8
放火	1,017	-17.5%	14.5	0.6	2,321.1
略取誘拐・人身売買	133	20.9%	1.9	0.3	708.0
窃盗	27,036	-18.5%	386.2	332.3	116.2
交通事故死者数	463	-26.3%	6.6	2.3	292.6

※1 ブルガリアの人口 700 万人として計算

※2 警察庁ウェブサイトの統計を基に、日本の人口 1 億 2,557 万人として計算。

2 ブルガリア国内の犯罪総数の推移



3 主な地域の犯罪発生状況

地域	ソフィア 市	ブルガス 県	ヴァルナ 県	ヴェリコ・ タルノヴォ 県	プロブデ ィフ県	ルセ県	スタラ・ ザゴラ県
犯罪件数 (※1)	14,977	4,712	5,880	2,338	5,411	1,901	3,216
発生率 (※2)	1,127.1	1,151.3	1,251.4	1,005.3	811.5	882.2	1,026.2

※1 生命・身体に対する犯罪（殺人、傷害等）及び財産に対する犯罪（強盗、窃盗等）の件数

※2 人口 10 万人当たりの件数

4 当館コメント

ブルガリアでは近年、犯罪の減少傾向が続いており、2020 年の犯罪総数は 2011 年の約 54% にまで減少しましたが、犯罪発生率を日本と比較すると依然として約 2 倍で、殺人は約 4.7 倍、強盗は約 12.9 倍と、凶悪犯罪の発生率は日本より非常に高い状況が続いています。特に、ソフィア市、ブルガス県、ヴァルナ県では、ブルガリア国内の平均よりも 1 割以上高い犯罪発生率となっていますので、ご注意ください。